

岐阜県農業技術センターニュース No.18

「岐阜県堆肥供給者リスト」の活用を！ (環境部)

「岐阜県堆肥供給者リスト」で検索

家畜ふん堆肥は窒素の発現予測が難しいことが現場での利用が進まない要因のひとつとなっています。そこで、窒素の効き方を把握する方法を開発し、県耕畜連携農業推進連絡会議と連携し県内堆肥約120点を分析しました。

現在、速効性窒素や緩効性窒素の含量などがわかるリストや利用方法の解説を県ホームページ(畜産振興)で紹介しています。このリストを利用し、堆肥の肥料成分を活用することで、化学肥料の削減ができ、施肥コスト低減が期待できます。当センターでは本年度、現地実証試験を行うとともに、飼料米生産での活用法も検討しています。

堆肥の種類 + **肥料成分** + 堆肥生産者の情報 + 値段 を掲載

C/N比	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	無機態N	速効性N	緩効性N	水稻基肥N	水稻穂肥N
	現物1t当たりの成分kg									
16	11	6.4	9.0	9.8	5.3	1.7	1.7	0	1.7	0

速効性窒素
1ヶ月後までに効く窒素量
= 基肥として利用可能な窒素

緩効性窒素
1ヶ月以降3ヶ月までの間に効く窒素量
= 「後効きする窒素」

水稻基肥窒素
基肥として効く窒素量

水稻穂肥窒素
穂肥として効く窒素量

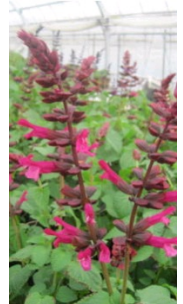
アドレス <http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/chikusanshinko/taihi/taihi-list.html>

種間交雑で新しいサルビア品種を育成 (花き部)

サルビアは夏秋花壇の代表的な品目ですが、高温にやや弱く、盛夏期に鑑賞価値が低くなるのが欠点です。一方、同じサルビアの仲間にガーデン用の「メドーセージ」があり、種は違いますが、耐暑性・耐寒性に優れています。この「メドーセージ」とサルビアの一般品種の交配により、種間交雑種を得ました。これを用いて交配と選抜を行い、花色が紫・赤紫・鮮赤紫の3品種を育成しました。いずれの品種も生育が旺盛で耐暑性に優れ、耐寒性も有するため、越冬も可能です。今後、新しいサルビアとして、国体に向けた生産体制の確立を目指して行きます。



紫



鮮赤紫

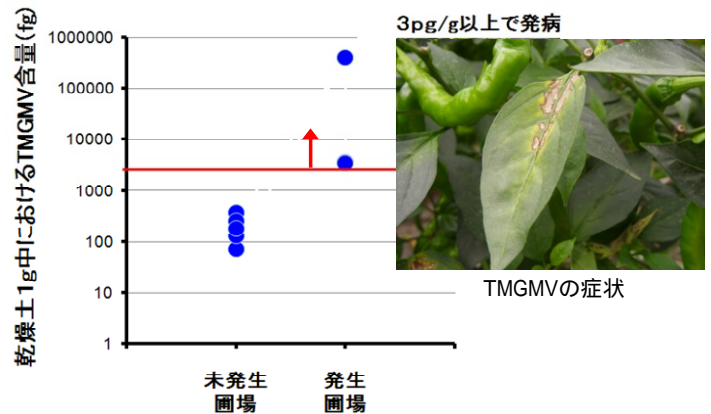
岐阜県農業大学校の視察研修会を開催

農業大学校1年を対象とした視察研修会が7月8日に行われました。初めにセンターの概要や主要な成果の説明を受けた後、今回のテーマである授業ではあまり体験できない、病原菌の顕微鏡観察や作物ごとの育種方法などの現場研修を行いました。初めての経験でしたが、学生たちは興味深く、疑問に思ったことを積極的に質問していました。



土壌伝搬性ウイルス病の耕種的防除対策 (生物機能研究部)

土壌伝染性ウイルスの感染防除は、これまで臭化メチルによる土壌燻蒸が有効でしたが、平成25年以降はその使用が禁止されます。そのため、代替防除対策の開発が急務となっています。そこで、甘長ピーマンの土壌伝染性ウイルス(TMGMV)について土壌中濃度と発病との関係を調べたところ、非感染植物を輪作体系に用いることでウイルス濃度を低減できることが明らかになりました。今後は他作物についても効率的に防除できる技術を開発したいと考えています。



TMGMVの土壌中濃度と発病との関係

普及と一体となってイチゴ後継者を支援 (野菜・果樹部)



現地で生産者と意見交換・検討しながら技術指導！

イチゴは、トマト、ホウレンソウに次ぐ県内野菜生産額第3位の主要品目です。この「岐阜いちご」生産に対して、近年全農インキュベート農場、地域の農業塾など各地で後継者育成が盛んに行われ、その成果として毎年、新規就農者が着実に増加し、「岐阜いちご」生産が活気づいています。しかし、経験が浅いため、栽培に対して不安を抱えている人も多いのが現状です。そこで、育苗や本圃生産のそれぞれの時期に定期的な現地巡回指導や研究会を普及課と農技セが一体となって行い、直接ディスカッションし、情報を共有し、これらの栽培経験の浅い生産者の悩みや、問題を解決しています。

岐阜県大豆の播種適期を広げる摘心技術 (作物部)

岐阜県大豆の主力品種である「フクユタカ」は、6月に播種すると生育が過剰となり、蔓化や倒伏が発生し、収量や品質の低下が起きます。このため、大豆の茎先端を摘み取る「摘心」という作業により、6月に播種しても生育過剰を抑制し、蔓化や倒伏を防止する栽培技術の開発に取り組んでいます。摘心技術を確立することにより、岐阜県大豆の播種適期を拡大し、生産量の増加を図ります。



試験ほ場における摘心作業

摘心した大豆

岐阜県農業技術センター

南濃試験地
池田試験地

〒501-1152 岐阜市又丸729-1

〒503-0651 海津市平原1165

〒503-2407 揖斐郡池田町般若畑631-11

Tel 058(239)3131

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/index.html>

Tel 0584(53)0175

Tel 0585(45)3837